

夢と個性を大切に作る学園へ 百周年に向け新たなスタート!

● 学校法人四條暇学園理事長
川崎 博司



— 昨年度は学園90周年という節目の年でした。振り返ってみていかがですか？

少子化や教育行政の変革など社会情勢が大きく変化の中で、足元を見つめ直す絶好の機会になりました。平成27年度には高齢化社会と地域連携を見据えて四年制大学に看護学部を増設。老朽化していた幼稚園舎を建て替え、総合学園にふさわしい複合学園になりました。

昨年度は「持続発展可能な経営基盤の確立」をめざした長期ビジョンに基づく中期計画を設定。教職員が一丸となってさまざまな改革に取り組もうという学園の意志を示しました。内容はホームページにも掲載していますので、ぜひご覧ください。ビジョンに基づき事業・財務計画を明確にし、実行して改善していく。このサイクルを重ねることが重要で

す。

— 百数十ページにも及ぶ90周年記念誌も作成されました。

— 百数十ページにも及ぶ90周年記念誌も作成されました。創業者の思いや苦難の歴史を振り返ることで今一度、建学の精神や教育理念を理解すると共に、将来に向けての建学の精神の発展的理解と、教職員や関係する皆様への浸透を図りました。保護者の皆様や子どもたちにも知ってもらおうと、ダイジェスト版の小冊子と動画も作成しました。

— 記念イベントも盛況でした。小中高の吹奏楽団によるザ・シンフォニーホールでの合同コンサートや音楽教室によるいずみホールでの演奏会、有識者を招いての記念講演、さらには大学看護による公開講座、相談会などを催しました。どれも好評でしたが、特に昨年10月の全学園同窓会(ホームカミングデー)には、多

くのOB・OGが参加。700名を超える人々が集い、旧交をあたためました。またやってほしいという声をたくさんいただきましたね。

— 今年度はどんな年だと位置付けていますか？

百周年に向けて新たなスタートを切る大事な年です。教職員すべてが心を一つにして教育の質の向上を図り、子どもたちに向き合っていくかなければなりません。先述の「長期ビジョン・中期計画」では「特色ある学園教育」「地域で必要とされる学園」「信頼される学園」というめざすべきキーワードを掲げました。今年度よりこれらを具体的に進めていきます。

— 最後に生徒・学生の皆さんにメッセージをお願いします。

学園の強みに「面倒見のよさ」があります。先生と皆さんとの距離が近く、勉強だけではなく悩みの解決に向けても親身に相談できる教職員ばかりです。学園生活を大いに楽しんでいただきたいと思います。

また、各校とも多くの行事があります。いろいろなことが体験できます。そこで失敗を恐れず大いにチャレンジしてください。もしうまくいかなくてもそのチャレンジは必ず成長につながりますし、先生方がしっかりとサポートします。勉強の面でも、部活動でも、夢や希望を見つけたらめのお手伝い、それを実現させるためのお手伝いに私たちは力を惜しみません。落ち着いた、穏やかな環境で個性に合った学びができる、それが四條暇学園です。

学園中学校 70周年

創立70周年を機に、 ぜひ中学校へお越しく下さい

今年度、中学校は創立70周年を迎えました。この節目の年にあたって、これまでのよき伝統を引き継ぎつつ、新しい時代に合った特色ある学校づくりに邁進し、さらなる発展に向け努めてまいりますので、今後とも皆様の一層の御指導・御支援を賜りますようお願い申し上げます。

また、この機会に同窓会を開かれませんか？ 四條暇学園中学校同窓会では、同窓会報にて同窓会の様子を写真や文面でご紹介させていただいております。写真・文面(記事)をぜひご提供くださいますようお願い申し上げます。

文化祭 2017年9月23日(土・祝)・24日(日)

- 演技の部：23日(土・祝)
 - ・合唱コンクール クラス全員で取り組み、曲決めからピアノ・指揮の担当もすべて生徒たちで行います。文化祭が近くなると、朝から各クラスが練習している歌声が校舎に響き渡ります。
 - ・弁論大会 各学年より選出された代表生徒がそれぞれの思いを発表します。
 - ・イングリッシュスピーチ 各クラスより選出された代表生徒によるスピーチを行います。
 - 展示の部：24日(日)
 - ・1・2年生のクラス展示をはじめ、文化系クラブの作品展示や活動内容の披露、生徒会主催の有志によるスタンプ大会などもあります。
 - ・同窓会による模擬店 同窓生の皆さんにお手伝い頂き、様々な食べ物を用意してもらっています。
 - ※当日お手伝い頂ける方 同級生や知人のみなさんをお誘いの上、ぜひ、模擬店のお手伝いにご協力頂けますようこの場をお借りしてお願い申し上げます。
- その他吹奏楽部演奏、英語部の英語劇をはじめ、ニュージーランドの姉妹校(マスタートン中学校)からの訪日団による文化披露なども行われます。



体育会 2017年10月7日(土)

- ・先生と一緒に いわゆる仮装大会。各クラスの女子が中心となり、各自が工夫を凝らして担任の先生を仮装させます。
- ・エッサッサ 四條暇学園中学校伝統のエッサッサ。今も続いております。騎馬戦の前に行い、「気合い」を入れて騎馬戦へ臨みます。
- ・クラブ行進 各クラブがそれぞれのユニフォーム(コスチューム?)を着たり、アイテムを手に持ったりとクラブのそれぞれの「色」が光る行進です。



HOME COMING DAY (ホームカミングデー) 2017年10月28日(土)

現教職員はもちろん、旧教職員も招いて卒業生の方々と旧交を温める場です。第1部(13:00～)は講演会、第2部(14:30～)は飲食パーティーとなっています。ご家族・ご友人をお誘い合わせの上、ぜひご参加下さい。

80名の教育関係者が 活発な意見交換

公開授業研究会16



1月28日、「公開授業研究会16」を開催しました(大東市教育委員会後援)。「子どもたちの将来を見据えた学習」何をどんなふうにするか、それはどんな人間像を期待しているのか?」を研究主題とし、国語、算数、社会、科学(理科)の4つの授業公開と、それに続く80分間の教科別分科会を開きました。各地から80名の教育関係者にお集まりいただき、活発な意見交換が行われました。ほとんどの参加者から「意見、感想をいただきました。」



参加者の感想 ※いただいたご意見は、今後の小学校教育に反映させていきたいと考えています。

- 3年間の研究の流れが分かりやすくプレゼンされていて、大変参考になりました。
- 階段の踊り場で掲示物を見ていた私に、男の子がわざわざ立ち止まって、目を見て丁寧に「おはようございます」とあいさつしてくれました。私の勤めている学校でも「あいさつ」の指導を行っていますが、なかなか定着しません。研究会が始まる前に、素晴らしい子どもさんたちの育ちを見ることができました。
- 長年の積み上げられた実績の重さを強く感じました。アクティブラーニングの生きた学校の姿を見させていただきました。
- 関西の学校を見学したのは初めてだったため、子どもたちの勢い、元気よさに驚きました。
- 今回で3度目の参加です。毎回楽しみにして、はるばる雪国より来ています。

第101回 二科展 子ども二科展 ふたりのお友だちが入選



大阪で「第101回二科展」が開催されました。科展」が行われた「こども二科展」に、本校の子どもたちが出品し、2名が入選しました。1年1組の『おしゃべりペンギン』と、1年1組の『おしゃべりペンギン』です。どちらの作品も自由な発想でのびのびと描かれています。



晴れた秋空の下、 子どもも大人も満喫!

10月29日、第二回秋祭りが行われました。夏祭りから秋祭りに代えて2回目。なかなか慣れるのが難しい我々教師より、子どもたちは慣れるのが早いものです。秋祭りが近づくにつれて、何の店を食べようか、どの店で何をしようか等々話し合っていました。前日は雨に見舞われましたが、当日は天気にも恵まれ秋空の下で子どもも大人も満喫しました。ストラックアウト、ボウリングをはじめとした遊びや、子どもたちが作った陶器の箸置き、竹の箸、しおりやハンカチなどを展示。食べ物はPTAのお母さん方が、おいも、飲み物、豚汁、ミルクせんべい、ぜんざいなどを用意してくれ、ステージでは各学年クラスの歌や踊りと盛りだくさんでした。今年10月の第3回秋祭りが今から楽しみです。



飛べーもっとと高く、 もっと遠くへ 模型飛行機会

模型飛行機会は、航空記念日にちなみ、昭和33年から始まった本校独自の行事です。学年ごとに制作難易度のちがう飛行機を活動科の時間に作り上げ、滞空時間を競い合います。学級ごとに滞空時間チャンピオンを決め、そのあとクラスチャンピオン3名が一斉に飛行機を飛ばして、学年チャンピオンを決めました。模型飛行機名人の毛利さん



飛ぶ続ける毛利さんの飛行機に、大きな歓声が上がりました。滞空時間学年チャンピオンは、次の通りです。

- 1年 2年 3年 4年 5年 6年

台並んでおいてある車椅子が目にとまりました。そのほかにもいろいろと展示されているものを気にながら子供たちは座っていました。

お話ししたがるのは、本校(小学校)の卒業生である川口さん。とても元気のある小学校時代を送っていたことが思い出されました。とてもしっかりと分かった話に3年生の子も達はすっかり聞き入っていました。

美化委員が中心となり、駅前ボランティア清掃を3年生が行いました。道行く人から「善男様」と声をかけてもらった児童もおり、やりがいを感じていたようです。駅前清掃以外にも、美化委員が企画した校内の美化運動をすすめています。縦割り活動の一環で、他学年の児童とも仲良くなりました。



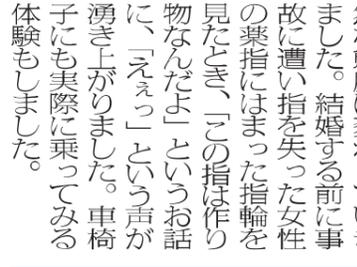
はたらく人に聞く 川村義肢さんへ 招いて

12月17日、大東市にある川村義肢(株)さんを学校にお招きして、お話を聞きました。聞いたのは3年生96名。社会科

の「はたらく人とわたしたちのくらし」の一環として、工場ではたらく人の話を聞くことになったのです。

会場である小学校の集会室に入るやいなや、数

台並んでおいてある車椅子が目にとまりました。そのほかにもいろいろと展示されているものを気にながら子供たちは座っていました。



平成28年度 第2回漢字検定合格者

準2級(高校在学程度)	5級: 10名
5年	6級: 9名
	7級: 18名
4級(中学在学程度)	8級: 15名
3年	9級: 14名
	10級: 14名



感動の笑顔と涙であふれた旅立ち
第70回卒業式

第70回卒業式が3月4日に盛大に挙行されました。この日は好天に恵まれ、小春日和の中、今年度は190名の卒業生が、多くの来賓の方々、保護者の皆様に見守られながら巣立ちました。たくさん笑顔と、きらりと光る涙が印象的でした。

白銀の志賀高原で
シユプールを描く！
1・2年生スキー教室



12月20日～24日にかけて、長野県志賀高原で第47回スキー教室を実施しました。1・2年生の希望者で毎年開かれるこの行事、今年も雪不足が心配されましたが、さすがに志賀高原一ノ瀬はレツスンするには十分の積雪があり、改めて志賀高原の素晴らしさを確認することができます。

寒さに負けず
力を合わせ！
全学年耐寒オリエン
テーリング

12月7日に私市の「府民の森」で全校生徒による耐寒オリエンテーリングを実施。この行事には「体力・精神力を養うこと」「3学年の縦割りのグループ活動により、人間関係を広げる」「オリエンテーリングの知識を深めること」という目的があ

ります。今年度は河内磐船駅から約4kmの山道を歩いて「府民の森」へ。昼食時にはPTAの方が用意してくださった豚汁を美味しくいただき、冷えた体を温めることができました。その後、山の中に設置されている各ポストを指し、地図とコンパスを駆使し、お互い協力しながら山を駆けめぐってポイントを獲得しま

各クラスで
有意義な学習体験
2年生社会見学



2月10日、2年生は社会見学を実施しました。この社会見学は各クラスで見学地を考え、計画を立てて実施します。インスタントラーメン発明記念館やコカコーラ工場では商品開発の秘話や生産過程の体験を、裁判所では法廷の様子や裁判の流れを、大阪市立科学館や下水道科学館では展示見学を、京都水族館では水族館の仕事や仕組みを、NHKでは放送局の内部の様子を、京都中書島の

過去最多の
参加者！
第7回母校で
成人を祝おう会

1月9日成人の日、中学校第65回卒業生が集まり「母校で成人を祝おう会」を行いました。今年度は過去最多の139名が集まりました。5年前はまだ少し幼かった顔も凛々しく大人びた顔となり、晴れ着に身を包んだ姿は立派な成人のものとなりました。5年ぶ



●平成28年度 私立・公立高校合格実績●

私立高校			
四條畷学園	専併7	同志社大	4
東大寺学園	1	帝塚山(奈良)	8
西大和学園	2	奈良学園	2
洛南	1	京都女子	5
明星	5	近畿大学附属	9
清風	5	桃山学院	8
開明	4	常翔学園	11
大阪桐蔭	8	東海大仰星	2
大阪女学院	1	その他	62
大阪国際大和田	10		
公立高校 ※()内数字は文理学科など			
大阪教育大附属平野	1	寝屋川	4
天王寺	2(2)	住吉	2(国際)
大手前	6(3)	清水谷	2
四條畷	12(5)	市岡	1
高津	1	市立東	3(理数)
千里	1(国際)	その他	13

●平成29年度 中学校入学試験結果●

	募集人数	志願者数	受験者数	合格者数	入学予定数
英数コース	115	109	106	126	120
英数発展コース	35	97	93	46	40
6年一貫コース	35	42	40	27	26
合計	185	248	239	199	186

○英数コースの合格者には英数発展・6年一貫コースよりの転科合格者を含む
○データには四條畷学園小学校より55名の内部進学者を含む

各種検定試験今年度結果 ※学外受験者含まず

●平成28年度(第1回～第3回)漢字検定 合格者数					
2級	準2級	3級	4級	5級	
6	34	65	44	25	
●平成28年度(第1回～第3回)英語検定 合格者数					
2級	準2級	3級	4級		
3	56	96	37		
●平成28年度(第1回～第3回)数学検定 合格者数					
2級	準2級	3級	4級	5級	
1	12	28	21	25	

平成30年度 入試説明会日程

- 下記の日程で開催予定です。場所はすべて中学校若草校舎6F体育館。HPより事前申込。
- 学國小対象
5月31日(水) 14:30 第1回学國小対象入学説明会
9月2日(土) 10:00 第2回学國小対象入学説明会
 - 学外小対象
6月17日(土) 10:00 学校見学会
9月2日(土) 14:00 第1回入試説明会(体験授業)
10月14日(土) 14:00 第2回入試説明会(プレテスト①)
11月11日(土) 14:00 第3回入試説明会(プレテスト②)
12月2日(土) 14:00 第4回入試説明会(入試対策会)

70駅を巡る
大阪地下鉄の旅
オリエンテーリング

2月10日、1年生は中学校伝統の地下鉄オリエンテーリングに行きました。寺田屋では幕末の資料や史跡の見学など、実際に体験を通じて楽しく学習してきました。



研究成果を發揮する
6年一貫コース 3年生
研究論文発表会

の集大成として、自ら研究したいテーマを選び、個人で探求してきた研究論文。「魅力的な声の秘密」「ミドリムシの食用」など、個性が光るテーマがたくさんありました。論文制作過程では、専門家へのインタビューや現場の視察、協力者を募って実験を行うなど、研究方法も扱うテーマによってそれぞれ。発表会の質疑応答では、聴講生がたくさんの質問を投げかけ盛り上げてくれました。緊張しながらも一生懸命発表会に挑んだSSH生、お疲れ様でした。

自然に触れ合い
愛を育む
6年一貫コース 3年生
グアム修学旅行



コース独自の人間力を育成する「自分プロジェクト」の一つに、「自分たちで修学旅行を企画せよ」というプログラムがあります。今年度は「みんな自然にふれあいなから愛を育もう」をテーマに進めてきましたが、こんなにすばらしい日々を過ごせるとは誰が想像できたでしょう。

自然のままの海、現地で学ぶ歴史、感動の学校交流、英語で話したナイトマーケット、幸せを満

すべては気持ちから!!
 高校生ストリートダンス選手権2017
 1月22日に開催された「高校ストリートダンス選手権2017」に、ダンス部の2年生10名が出場。昨年は1年生だけの構成メンバーで予選を通過し、決勝大会へ進出。特別賞を受賞しましたが、今回

すべては気持ちから!!

高校生ストリートダンス選手権2017

1月22日に開催された「高校ストリートダンス選手権2017」に、ダンス部の2年生10名が出場。昨年は1年生だけの構成メンバーで予選を通過し、決勝大会へ進出。特別賞を受賞しましたが、今回



吹奏楽部が演奏と合唱を披露!
 第29回「WING CONCERT」

吹奏楽部の定期演奏会を感じました。6日の職員朝礼では、吹奏楽部3年生の部長と2年生の次期部長が「涙あふれる感動のステージになりました。これから応援よろしくお願います。」とお世話になりました。卒業式の後も学園にた先生方に挨拶をします。卒業式の後も学園にた先生方に挨拶をします。卒業式の後も学園にた先生方に挨拶をします。

吹奏楽部の定期演奏会を感じました。6日の職員朝礼では、吹奏楽部3年生の部長と2年生の次期部長が「涙あふれる感動のステージになりました。これから応援よろしくお願います。」とお世話になりました。卒業式の後も学園にた先生方に挨拶をします。卒業式の後も学園にた先生方に挨拶をします。卒業式の後も学園にた先生方に挨拶をします。



吹奏楽部の練習風景



ダンス部の練習風景

ダンス部の練習風景

ダンス部の練習風景

ダンス部の練習風景

日本政策金融公庫主催のコンクールで、6年一貫コース生4名の「空き家を利用した児童支援」というプランが、全国応募数2662件の中からファイナリスト10組に選ばれました。さらに1月8日、東京大学本郷キャンパスにて開催された、最終審査会で代表の発表。

審査員特別賞受賞

第4回高校生ビジネスプラン・グランプリ最終審査会
 6年一貫コース

堂々のグランプリに輝く!

第7回トウワイス・アワード授賞式・グランプリ2016決勝大会
 6年一貫コース チーム名「TAKOYAKI」
 (4S大林直斗、金戸奈々、松岡寿々代、4H大河聡)

自分プロジェクトで「&アイ・ホールディングス、KDDI、大塚製薬」の学びを全国大会で発表! トウワイス・リサーチ・インスティテュート主催の大会(全国8463名が参加があり、企業の課題に取り組むワーク「企業インタビュー」で明治賞(企業賞)を受賞。さらに明治、森永乳業、日本航空、セブン

自分プロジェクトで「&アイ・ホールディングス、KDDI、大塚製薬」の学びを全国大会で発表! トウワイス・リサーチ・インスティテュート主催の大会(全国8463名が参加があり、企業の課題に取り組むワーク「企業インタビュー」で明治賞(企業賞)を受賞。さらに明治、森永乳業、日本航空、セブン

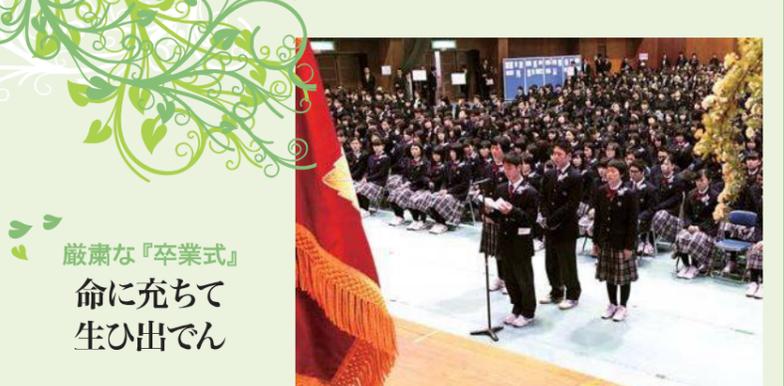
自分プロジェクトで「&アイ・ホールディングス、KDDI、大塚製薬」の学びを全国大会で発表! トウワイス・リサーチ・インスティテュート主催の大会(全国8463名が参加があり、企業の課題に取り組むワーク「企業インタビュー」で明治賞(企業賞)を受賞。さらに明治、森永乳業、日本航空、セブン

自分プロジェクトで「&アイ・ホールディングス、KDDI、大塚製薬」の学びを全国大会で発表! トウワイス・リサーチ・インスティテュート主催の大会(全国8463名が参加があり、企業の課題に取り組むワーク「企業インタビュー」で明治賞(企業賞)を受賞。さらに明治、森永乳業、日本航空、セブン

“実現力”で未来へ

2期生2017春大学合格実績速報!

今春、卒業した6年一貫コース2期生の大学合格実績を速報します。大阪大学(人間科)、神戸大学(工)、大阪府立大学(現代システム)、大阪市立大学(理)、関西医科大学(医)、防衛大学校(理工)、大阪薬科大学(薬)、四條畷学園大学(看護)に各1名、同志社大学(理工・法)、関西学院大学(商・経済)、立命館大学(生命科・政策科)、関西大学(商・政策創造・化学生命工)〈関関同立計のべ18名〉に合格しました。その他にも近畿大学、京都産業大学、龍谷大学、関西外国語大学など多数の大学に合格。社会で活躍できる人材の育成のため、進化し続けるコース。2期生それぞれが夢を実現する力“実現力”で未来へ飛び立ちます。



2月17日午前10時から、卒業式が挙行されました。優等賞・3ヶ年皆勤賞等の各種表彰は、前日の表彰式で終了しており、当日は卒業証書授与の厳粛な式典。卒業生は担任から自分の名を呼ばれ、「はい!」と返事をして起立。クラス全員の名が呼ばれ、代表が校長先生から卒業証書を授与されました。そして、高等学校長式辞・来賓祝辞・花束贈呈・在校生送辞・卒業生答辞・保護者謝辞・卒業の歌・送別の歌・学園歌斉唱と続き、拍手に送られて卒業生退場。2時間以上の緊張と幸福感の中で、厳かな式典を体験するのも勉強の一つ。学園歌の歌詞、「いそむ我等若草も命に充ちて生ひ出でん」と歌う卒業生達の新たな旅が始まります。



卒業式前々日の2月15日、後期生徒自治会総務役員が中心となって企画する、大イベント『送別会』が行われ、大成功のうちに終了しました。開会の辞から卒業生の退場まで、細かく企画準備されたプログラムには、何十年も前からの総務役員に引き継がれてきたノウハウがあり、

時代とともに進化してきました。今年度は、歌声部・演劇部・バトン部・ダンス部・吹奏楽部の演技発表と、その幕間に、3年生有志の先生方による「パーフェクトヒューマン」のパフォーマンスがありました。また、クラブ発表では先生のゲスト出演もありました。そしてお待ちかねの「生徒会アワー」。苦勞して作成した思い出のビデオ上映と、卒業記念誌の贈呈。最後に前生徒自治会会長のと前副会長のが卒業生代表として挨拶をしました。後輩達に穏やかに語りかける先輩の姿に「あんな先輩になりたい!」と憧れた後輩もいるでしょう。この3時間足らずの『送別会』の間に、全校生徒が瞬きもせず注目する瞬間や、感動する瞬間、一緒に笑う瞬間を何度も共有することができ、寒い体育館も、みんなの心の温かさで若く活力で心地良く過ごせました。

リハビリテーション学部

苦労の分だけ得た喜び

リハビリテーション学部の作業療法学専攻では、革細工を通じて作業療法体験をしてもらいました。子ども連れの家族が多数参加して下さり楽しんでいただきました。一般的な模擬店も加え、大学の特色を伝えることができま

した。実行委員や学生委員を中心に学生主体で企画を行うため、直前まで打ち合わせがあり大変な様子でしたが、苦労した分盛大に終えることができました。



地域の方々と共に盛り上がり 2016年樟葉祭

樟葉祭は学生主体で開催される大きな行事。模擬店やお笑いライブなどが行われ、多くの地域の方に参加していただきました。

看護学部

全員参加で 触れ合い深め



今年のテーマは「show your shine ~90年目の輝き」。看護学部は1・2年生ともに全員が模擬店か展示の催しに参加しました。看護学舎1Fでは、1年生が人体模型をバルーンアートで表現。2年生は授業で学んだリラクゼーションのための看護技術である、ハンドマッサージの実践と血圧

に関する展示を行い、ハンドメイド同好会では手作りアクセサリを販売。ハンドマッサージには、教職員をはじめ近隣住民の方々など、多くの方にお越しいただきました。リラクゼーション効果を評価するために、実施前後の脈拍と血圧の測定も実施し、ほとんどの方に効果(実施前よりも脈拍値と血圧値が減少する)が見られました。若干のトラブルはあったものの、2日間を楽しく終えたのは、自治会委員の学生たちが、縁の下で並々ならぬ奮闘をしてくださったおかげです。

両学部合同イベント開催

知的な刺激に満ち

学術記念講演

大学では、10月25日に学園90周年記念事業の一環として、学術記念講演を開催しました。

冒頭は廣島学長による基調講演。医療における「技術」の進歩の歴史をギリシャ文明まで遡りながら、現在の最先端の医療技術について紹介されました。続いて、ノーベル賞を受賞した京都大学山中教授によるiPS細胞の登場と機能代償リハから機能再生治療への移行、リハ・看護領域におけるロボット化などの事例を交え、未来のリハビリテーション・看護そして医療の進む方向について、問題提起が行われました。

廣島学長の話を受け、リハビリテーション学部 松木明好准教授から「リハビリテーションの未来」、看護学部 大田博助教から「看護の未来」というテーマでそれぞれ講演が行われました。

松木准教授は、リハビリテーションに大きな変化をもたらす可能性のある分野として「再生医療」「Brain Machine Interface」「IT」の三点を挙げられ、脳卒中を事例とした運動障害のメカニズムを解説した上で、



従来のリハビリテーションでは再生が難しい中枢神経系について、iPS細胞をはじめとする「再生医療」による機能回復の方法と物理学との併用によるリハビリテーションとの関わりを解説。また、損傷した神経に代わり、脳波を使って機械を操作し体の動きをサポートする「Brain Machine Interface (BMI)」とBMIを支える「IT」についても解説され、BMIを用いたリハビリテーションまで言及されました。

大田助教は、「宇宙」「人工知能」「情報通信技術(ICT) / モノのインターネット(IOT)」をキーワードにこれから2、30年先の「看護の未来」について話をされました。宇宙空間における看護の研究から、人工知能を活用した生活支援、手術支援ロボット、IT技術を活用した看護教育テキストなど、医療・看護の現場での最先端のトピックを紹介し、看護の中で変わるもの・変わらないものについて、自身の考えを述べられました。

また、先生の研究分野である「看護実践の記録用語マスター開発」や「タブレット端末を利用した糖尿病患者の自己管理支援システム」「授業システムの開発」についても紹介をされました。

看護学部

体験は最大の学び

在宅看護学実習は、地域で生活しながら療養する人々とご家族を理解し、その支援方法を学ぶ科目です。本年度前期には、2年生が早期体験実習と

して、大東市、四條畷市を中心とするデイサービスや居宅介護支援事業、居宅サービス事業などで実習を行いました。そこで触れ合った人々とのコミュニケーションを通じて、住み慣れた場所でもその人らしい安心した暮らしを続けるための支援の大切さを実感。また、地域で活躍するさまざまな職種について、役割とお互いに連携する必要性が学べ、貴重な体験となりました。

リハビリテーション学部

スキルアップにつながる

臨床理学療法セミナー 臨床における卒前・卒業教育の発展に資するべく、四條畷学園大学・臨床理学療法セミナー2016を実施しました。



宮嶋講師の研究が新聞に掲載

大阪府立男女共同参画・青少年センターで、延べ400名程の臨床の理学療法士・作業療法士の方に對して、各教員が専門分野を講演しました。



12月21日 読売新聞の夕刊に、本学リハビリテーション学部作業療法学専攻の宮嶋愛弓講師の研究が掲載。宮嶋講師は大阪府立大学総合リハビリテーション学部の立山清美講師と

作業療法士の同窓会開催

作業療法分科会

は保健医療行政に対する協力、作業療法界の指導育成等に特に顕著な功績のあった者に与えられる賞です。上田教授は大阪府作業療法士会の会長の職責も担っており、臨床で働く作業療法士の教育にも尽力されています。 平成28年度は分科会が二度行われ、第1回は宮嶋講師と新入職の野口講師・亀井助教が臨床について講義を行い、第2回は主にOBである7年目以上の作業療法士の方に

上田任克教授が 厚生労働大臣表彰を受賞



本学リハビリテーション学部作業療法学専攻長の上田任克教授が9月25日に厚生労働大臣表彰を受賞しました。この賞



包み隠さず教えます!! 両学部合同オープンキャンパス 参加いただき、在学生からありのままのキャンパスライフを包み隠さずオープンに伝えました。今回、参加した高校生からは「理学療法士・作業療法士・看護師が、どんな職業であるか考えることができた」といった感想や、保護者の方からは「子ども達が、将来どのような仕事をするか想像することができた」などの感想をいただきました。現場のリアルな働き方を伝えることで、職業を身近に感じ、将来像をイメージすること、医療系大学としての特色を理解して頂くという合同オープンキャンパスは、次年度も継続していく予定です。

キャンパスイベント

学部紹介、体験授業、在学生との交流、キャンパスツアー等のイベントを活用して、受験や大学生生活の疑問点を解消してください。詳細は大学ホームページでご確認ください。

Calendar of campus events including Open Campus (6/18, 7/30, 8/26-27) and Open Campus (9/18).

Table showing enrollment statistics for the Rehabilitation and Nursing departments for the 2017 academic year.

国家試験結果

Table showing the results of the National Examination for Physical Therapists and Occupational Therapists.



自身の経験に基づいた講義を行って頂きました。

各校園長からの新入学のお祝いの言葉



初志貫徹の精神をもって 医療人のプロとならんことを

●大学・短期大学学長 廣島 和夫

この度、四條畷学園大学および短期大学にご入学されました皆様方、ご入学おめでとうございます。

学校法人四條畷学園は昨年創立90周年を迎えましたが、四條畷学園大学は、一昨年に創立10周年を迎えたばかりの若い大学です。ただ、リハビリテーション学部は短期大学時代に創設されていますので、今年で誕生16年目となります。同時に看護学部は平成27年に開設され、今年3年目を迎えました。

今後は両学部が二人三脚の如く、互いに協力しながら合同授業や合同カンファレンス・合同学術講演会などを開催できればと考えております。そして、優秀な理学療法士・作業療法士・看護師を育て上げ、北河内地区の医療の質の向上の一端を担い、貢献することを望んでおります。

四條畷学園短期大学は、1964年に創設され53年目を迎えております。1972年に創設された保育学科は、今年45年目を迎え、近畿では中核的な役割を果たしていると自負しております。一方、ライフデザイン総合学科は2004年に創設され、当初はその時



代の学生の志向に合致したものでしたが、経過とともに秘書オフィスワーク・IT関係・医療事務などにシフトしてきました。これまた、時代の要請に応じたものと思っております。

大学・短期大学とも専門教育のコアは、「ひと」と「こと」との深い繋がりをベースとして、その上にそれぞれの専門領域の幅広い知識と技術を積み上げて行くことです。科学性(論理性と再現性)と同時に「研ぎ澄まされた感性」を有することが非常に重要です。これらは今からでも培うことが可能であり、是非とも身につけるべく努力をして戴きたいと思っております。

とはいえ、専門職に就くにはそれなりの厳しい勉強と不屈の精神とが要求されます。それでも必死に努力をして目的に向かって邁進すれば、誰もが成就可能です。その先には自ら選んだ専門職に就くことができ、多くの人々から感謝され、達成感のある人生が待ち受けています。どうか、初志貫徹の精神をもって大学生生活を全うされることを願っております。



一人ひとりの「一歩前」を応援

●高等学校校長 飯田 英佳

新入生の皆さん、四條畷学園高等学校への入学おめでとうございます。義務教育が終わり、自分で考え自ら行動することが求められる新しい高校生活がスタートします。今は期待と不安の入り交じった複雑な心境だと思いますが、この新鮮な気持ちを前向きな行動へとつなげてください。

学園には、クラブ活動に一生懸命取り組み、互いに切磋琢磨する先輩たちがいます。自分の持っている能力を最大限に活かそうと集中して授業に取り組み、放課後の講習を積極的に受講する人や将来役立つような資格にチャレンジし自分を高めようとする人もいます。それぞれに情熱・意欲を持って努

力している仲間がいて、多様な個性を持つ生徒が大切にされ、共に成長していく。それが四條畷学園高等学校です。皆さんが一歩前へ進むとする時、私たちは応援しますし、精一杯サポートもします。それは、本校の教育方針が「学習指導や生活指導、そして行事や部活動の体験を通して、一人ひとりが持つ個性を大切に、自分で考え判断し、自主的に行動し、自ら学び、そして品性ある大人として成長するよう皆さんを導くこと」だからです。日々の高校生活に悩んだり、自分の進む方向や決断に迷ったときは、遠慮なく先生方に相談してください。一緒に考え、新しい仲間と共に成長していきましょう。



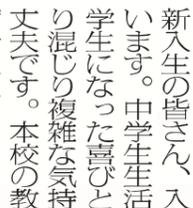
創立100年へ向けた改革

●小学校校長 北田 和之

新入生の保護者の皆様、入学おめでとうございます。併せて在校生保護者の皆様、ご進級おめでとうございます。

本校では、伝統ある学園の温かみのある良さを残しつつ、他校にはない特色を導入し、さらにより良き学校にしていきたいとの願いのもと、子どもたちの興味関心をもとにした、多様なカリキュラムの実践と改善を重ねていきます。その一例として、今年度行う行事についてお知らせします。

ひとつは、中学年対象の林間学校の変更。場所を琵琶湖畔の休暇村近江八幡に移し、縦割り班で活動・宿泊をします。グループごとに協力し、ものごとを成し遂げるプログラムや水上体験



かけがえのない皆さんへ

●中学校校長 仲尾 信一

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。中学生生活が始まり、今は中学生になった喜びと、期待と不安が入り混じり複雑な気持ちでしょうが、大丈夫です。本校の教職員や先輩方が必ず新入生の皆さんをより良い方向へ導いてまいります。

皆さんは、みんな違った能力を持ち、ご両親からかけがえのない存在として、大切に育ててもらっています。また自分の能力を自覚できないと思いますが、いつかその能力を活かして、人のために役立つように成長できることを願っています。

性格も違いますが、「皆さんのために」という気持ちは同じですので、それぞれの先生方から良いものを受け取ってください。そして学生生活で大事なところである「生徒同士または生徒と先生が信頼し合い、毎日の学習や学級活動・クラブ活動などに打ち込みながら通う」そして、学校生活が新入生の皆さんにとって「楽しいものになる」よう過ごしてください。

皆さんは、異なる小学校から中学校へ入学されましたが、出身校の垣根をなくし「みんな四條畷学園中学校の生徒である」という考えを強く持つてください。一人ひとりが良い学校の一員になるよう願っています。



今日の笑顔と感謝を大切に

●幼稚園園長 前田 泉

ご入園おめでとうございます。お子様が集団生活を過ごす第一歩を、四條畷学園大学附属幼稚園で送られることに、お祝いと感謝の気持ちを申し上げます。私達教職員もこの縁を大切に、子ども達が楽しく、保護者の皆様が安心してお子様の笑顔と成長を温かく見守っていただけるような、温もりのある保育に取り組む所存です。

四條畷学園では、建学の精神である「報恩感謝」を教職員一同大切に受け止め、日々教育活動に精進しております。幼稚園では、飯盛山の麓の恵まれた自然と充実した設備・環境のもと、経験豊かな教職員がお子様の心身の健康を見守り、ご家庭では体験できない集団

生活・お友達と関わりの中で、一歩一歩成長されるように取り組んで参ります。また、「おはようございます」の挨拶から始まる幼稚園生活の中で、日に言葉が増えていく段階を大切に、身の回りのものに感動する感性とその気持ちを表現する力が育つよう、見守って参ります。

今日の感動と笑顔とをいつまでも大切にしていいただき、未来を担う子ども達の成長に繋がれることを願っております。お子様・保護者の皆様・私達教職員がお互いに「感謝」の心を持ち続けられることを目標に、日々一層精進して参りますので、これからも幼稚園にご理解とご支援をお願いいたします。